

(93) 福島県西会津町の赤羽根鉾山跡

図1に、参考文献(1)に掲載されている赤羽根鉾山付近地質図を複写掲載している。赤羽根山の周りに幾つかの鉾山があったことがわかる。この赤羽根山付近を、「Google Earth」で空中散歩をした。銀鉛坑付近に、ズリ跡らしい箇所を見つけた。図2に、グーグル・アースからの衛星写真を複写掲載している。これら2つの資料と、地形図を携えて、現地の探査に出かけた。坑口までは探し出せなかったが、大きなズリ跡は健在であり、幾つかの標本を採集することができた。

現地への経路は次の通りである。東北道の郡山ジャンクションで、磐越高速道に入る。西行し、西会津ICで下車する。49号を東に進み、高速道路の下あたりで、右折し、400号に入り、南下していく。右折してから約1km当たりで道は大きく左折している。そのまま進むと橋を渡ることになるが、橋の手前で、右折し村道に入っていく。村道を南下していくと、村落を過ぎ、田畑を過ぎ、森へと入っていく。林道は沢に沿って南下しており、その内に左側に大きなズリが現れる。車の進める林道はここまでである。ズリ跡まで、車で直接行き着けるので、便利は便利である。

探査日 2011年 7月、その他



図1 赤羽根鉾山付近地質図。参考文献(1)より複写掲載。真ん中の少し左に、標高670.8mの赤羽根山がある。このあたりを、地形図と対比させるのには、この山しかない。が、図2で示しているグーグルアースの地表写真も参照すると、銀鉛鉾の位置が地形図上で確定できる。これができる、他の坑口の位置も地形図上で確定できる。



図2 グーグルマップより。図1で示している銀鉛坑付近の衛星写真。ズリ跡らしいものが幾つか見える



図3 国土地理院の地図サービスホームページより複写掲載。西合図ICで降り、400号を南下し、橋を渡らずに、山口地区に入り、更に南下していく。

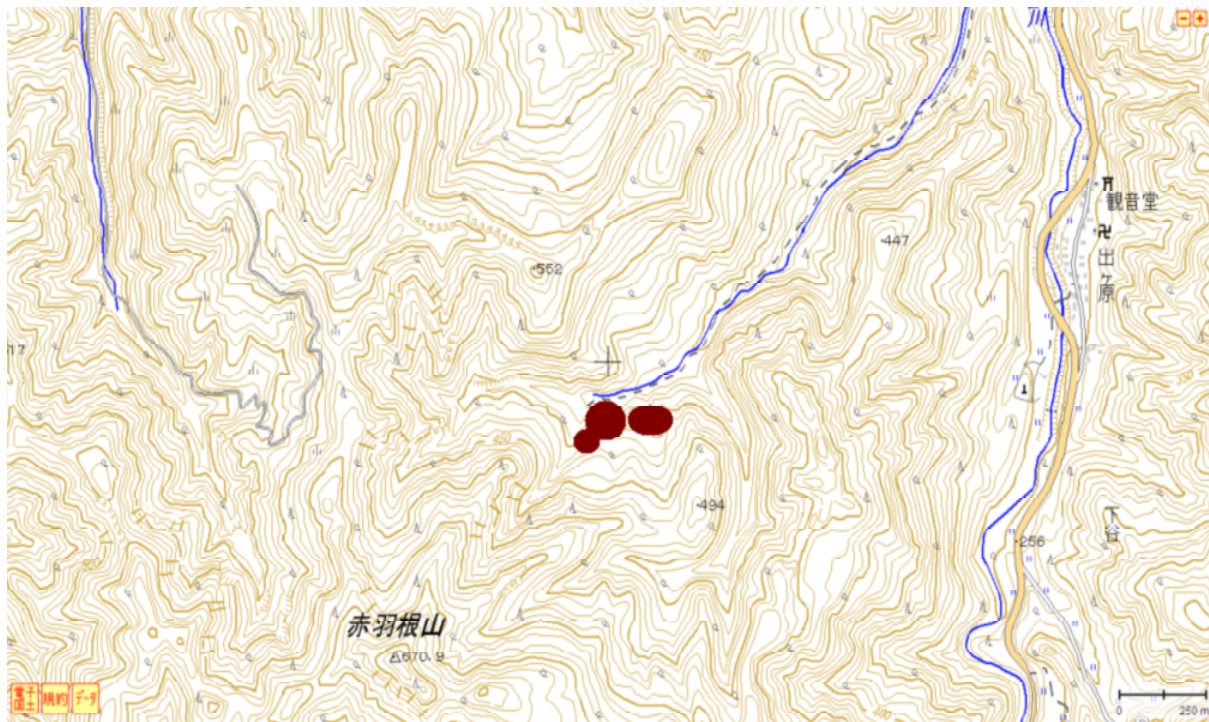


図4 銀鉛坑跡付近の地形図。茶色丸はズリ跡である。ズリの下まで車で行ける。

鉋山跡写真



写真1 400号を南下してくる。道路は大きく左折し、先に橋が見える。が、手前の右側の村道に入っていく。



写真2 村道から、農道、そして林道と南下していくと、林道の左側に大きなズリがある。車のここまでなら進んでくれる。



写真3 ズリを登り上がると、上部は木々が生い茂っているが、斜面に水平に広い領域がある。この斜面の先方の沢の先に、坑口がありそうと考えたが、草木が厚く生い茂っており、進行困難であった。諦めた。草木の枯れた時期に、再探査をしよう。

採集鉱物写真

それ程の物ではないので、未掲載。が、黄鉄鉱、閃亜鉛鉱、手の甲サイズの紫石英が採集できた。

参考文献

(1)「福島県鉱山誌」、福島県、1964年。